

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公開番号】特開2008-135166(P2008-135166A)

【公開日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【年通号数】公開・登録公報2008-023

【出願番号】特願2007-324173(P2007-324173)

【国際特許分類】

G 11 B 20/10 (2006.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

【F I】

G 11 B 20/10 H

H 04 N 5/91 P

G 11 B 20/10 301Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月29日(2008.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像情報または音声情報を含むデジタル情報を送信するデジタル情報送信装置において、

前記デジタル情報の受信時の記録媒体への記録の制限を示すコピー制限情報と、

前記デジタル情報の受信時の記録媒体への記録において、前記コピー制御情報が複製を制限している場合に、記録したデジタル情報を再生して出力するときに前記コピー制御情報と同一の状態である、前記デジタル情報の複製の制限をすることを示すコピー制御情報を付加して出力するようにする第1の状態と、前記デジタル情報の複製を禁止することを示すコピー制御情報を付加して出力するようにする第2の状態のいずれが可能であるかを識別できる識別情報を、前記デジタル情報とともに送信する情報送信手段を備えたことを特徴とするデジタル情報送信装置。

【請求項2】

前記コピー制御情報が複製を制限している場合は、複製を1回のみに制限している場合であることを特徴とする請求項1に記載のデジタル情報送信装置。

【請求項3】

前記デジタル情報は、デジタル放送信号であることを特徴とする請求項1に記載のデジタル情報送信装置。

【請求項4】

映像情報または音声情報を含むデジタル情報を送信するデジタル情報送信方法において、

前記デジタル情報の受信時の記録媒体への記録の制限を示すコピー制限情報と、

前記デジタル情報の記録媒体への記録において、前記コピー制御情報が複製を制限している場合に、記録したデジタル情報を再生して出力するときに前記コピー制御情報と同一の状態である、前記デジタル情報の複製の制限をすることを示すコピー制御情報を付加して出力するようにする第1の状態と、前記デジタル情報の複製を禁止することを示すコピー制御情報を付加して出力するようにする第2の状態のいずれが可能であるかを

識別できる識別情報とを、前記ディジタル情報とともに送信することを特徴とするディジタル情報送信方法。

【請求項 5】

送信された映像情報を含むディジタル情報を受信するディジタル情報受信方法において、

前記ディジタル情報にはコピー制御情報と識別情報とが付随しており、

前記ディジタル情報の受信時の記録媒体への記録において、前記コピー制御情報が複製を制限している場合に、記録したディジタル情報を再生して出力するときに前記コピー制御情報と同一の状態である、前記ディジタル情報の複製の制限をすることを示すコピー制御情報を付加して出力するようにする第1の状態と、前記ディジタル情報の複製を禁止することを示すコピー制御情報を付加して出力するようにする第2の状態のいずれが可能であるかを前記識別情報によって識別することを特徴とするディジタル情報受信方法。